ハートがふれあう住民自治のまち

議会だより かみかわ

神河町
マスコット
キャラクター
「カーミン」

第71号
令和4年4月8日

新学期に登校する子どもたち
（寺前小学校前カラー横断歩道）

令和4年度予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2～3
予算・議案審議の様子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4～9
委員会の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10～12
2人が登壇　いっぱん質問・・・・・・・・・・・・・13～15

発行／神河町議会
編集／広報公聴活動調査特別委員会

〒679-3116　兵庫県神崎郡神河町寺前64番地
☎／0790-34-0213　FAX／0790-34-0034　E-mail／gikai@town.kamikawa.hyogo.jp

一般会計予算 84億6700万円

（前年度比9.1%増）

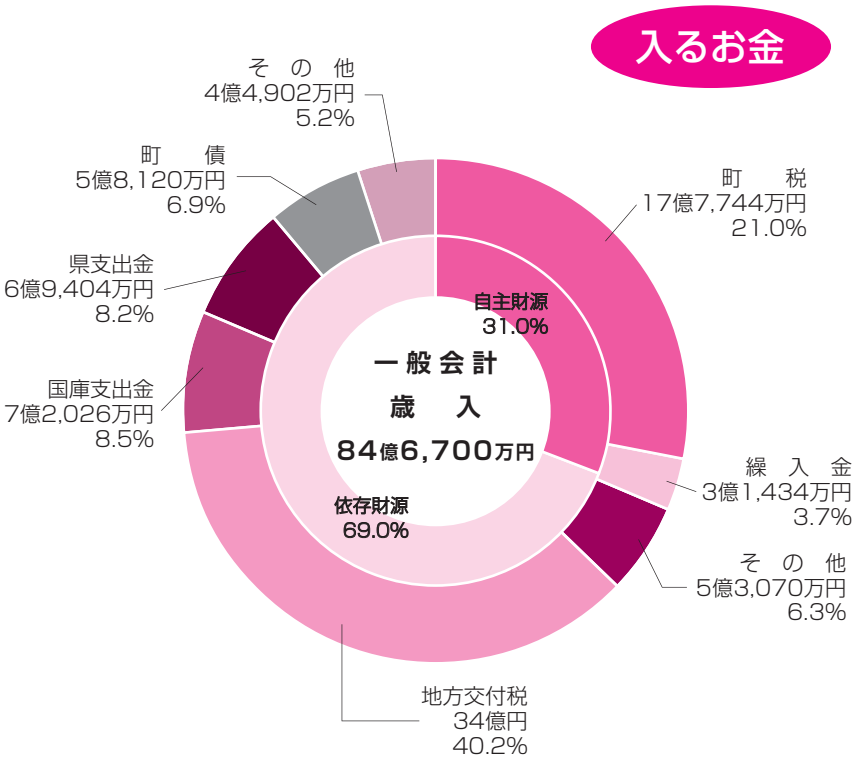
3月定例会は、3月3日に招集され、24日まで22日間の会期で開催されました。

各委員会報告、諸報告に続き、主な議案として、条例の一部改正12件、令和3年度補正予算11件、令和4年度当初予算13件、地球温暖化対策実行計画等計画の策定及び一部改正4件が提案されました。その他の議案を含めて計46件の議案について、慎重に審議を行い、いずれも原案のとおり可決・承認しました。

一般質問は、2人の議員が行いました。今回の定例会も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、傍聴は控えていただき、ケーブルテレビ中継での視聴をお願いしました。

歳入概要

○歳入総額は7億700万円（9.1%）の増。
○町債は前年度より20.4%の減、地方交付税は3億9400万円（13.1%）の増。
○自主財源の繰入金は前年度より1億8866万円の増、町税は154万円の増。



町税の状況

（単位：千円）

	令和４年度予算額	令和３年度予算額	増減額
町民税	489,326	474,743	14,583
固定資産税	1,186,451	1,199,980	△13,529
軽自動車税	45,872	44,257	1,615
町たばこ税	55,353	56,602	△1,249
鉱産税	440	321	119
町税合計	1,777,442	1,775,903	1,539

（一般会計）

神河町人口（R4.3.31現在）10,767人	町債残高（借金）	財政調整基金残高（貯金）
	132億6,207万円	15億77万円
町民一人あたり	123万1,733円	13万9,386円

令和4年度

ひとりひとりを大切に
希望が持てる元気な町づくりを

歳出概要

○子育て世代への支援、高齢者福祉、地域経済の活性化、安全安心のための事業など生活に必要不可欠なサービスの確実な予算。

○地域創生事業、区からの要望事業の継続、河川浚渫（しゅんせつ）の実施、新型コロナウイルス感染症対策の3回目のワクチン接種、山林再生を核としたエネルギーの地産地消のロードマップ策定経費等を計上。

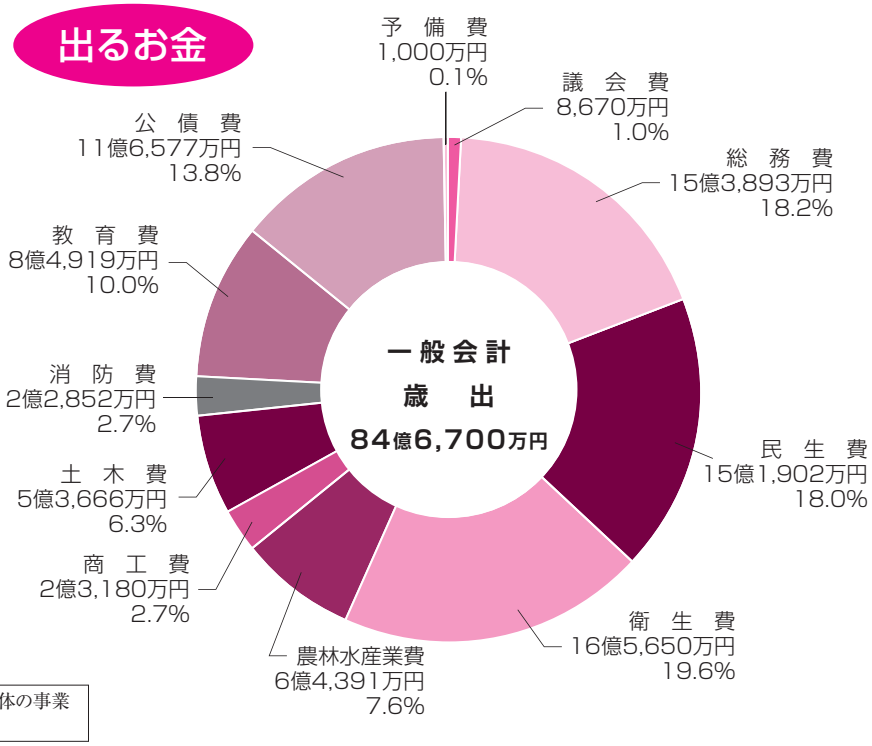
○神河将来ビジョンの策定、地域自治協議会の設立に向けた経費を計上。

令和４年度　会計別当初予算額の状況

（単位：千円）

会計区分		総額
一般会計		8,467,000
特別会計	介護療育支援事業	58,054
	国民健康保険事業	1,366,363
	後期高齢者医療事業	198,217
	介護保険事業	1,509,523
	土地開発事業	89,192
	訪問看護事業	144,083
	産業廃棄物処理事業	65,326
	寺前地区振興基金	2,918
	長谷地区振興基金	2,467
企業会計	水道事業（3条支出予定額）	414,260
	下水道事業（3条支出予定額）	626,497
	公立神崎総合病院事業（3条支出予定額）	3,510,138
合計		16,454,038

＊企業会計の3条支出予定額とは収益的収支予算（経営本体の事業予算）の支出予定額のことを指す。



主な新規事業

○行政手続オンライン化システム改修事業　3508万円
（マイナンバーカードを用いたオンライン手続きを可能にする整備事業）

○地域公共交通計画策定事業　1110万円
（地域に合った交通体系を構築するための計画づくり）

○地域公共交通施設環境整備支援事業
（JR新野駅にバス待合所を設置）　580万円

○地方創生推進交付金事業　7100万円
（ニンジン加工機器設置・ニンジン生産拡大の支援事業）

○粟賀小学校跡地整備事業　6000万円
（公園・図書コミュニティ施設整備設計）

○神河将来ビジョン策定事業　1128万円
（神河町の50年先の青写真となるビジョンの策定）

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業　3286万円

○感染症対策抗原定性検査支援事業　5500万円
（感染に不安を感じている人が無料で検査を受けられる事業）

○商工業者振興・出産応援商品券事業　550万円
（年度内出産予定者を応援する商品券を発行する商工会への補助事業）

予算審議 主なQ&A

一般会計

歳入

Q 固定資産税の償却資産の増額は、令和4年4月に予定されている関西電力㈱の発電機3号機の課税が令和5年度からの説明だったが、その設備更新が前倒しになったものか。また、今後の関西電力㈱の償却資産の見込みは。

A 今回の増額は、令和3年中に関電グループの配送電が分社化されたことにより、令和4年度に増額となった。今後の関西電力㈱の償却資産は、令和5年度から増額となるの見込みだが、大臣配分によるものなので金額等の詳細は分からない。

Q 小学校と中学校の太陽光発電売電収入の買取期間は。経費と売電収入を比較して採算はとれたのか。

A 売電契約期間は、寺前小学校が10年間で令和2年9月に終了、神河中学校が10年間で令和3年4月に終了、神崎小学校が20年間で令和14年3月に終了予定である。契約終了後も引き続き売電している。

設置経費は、工事費が寺前小学校が2800万円で補助金が約95%、神河中学校が3300万円で補助金が約95%、神崎小学校が2200万円で補助率が2分の1となっており、補助を除いた残りの工事費は臨時交付金を活用した。

採算性は、売電収入の積立金が約700万円あるので、設置した効果は十分あると考える。

歳出

総務費

Q ふるさと納税で、神河町に入ってくる額と、町内の方が他市町にふるさと納税をし、出ていく額はいくらか。

A 町外から入ってくる額は、令和3年度途中から㈱伊藤園のお茶が返礼品になり寄附が増え、予算額を5000万円とした。令和4年度も同額の5000万円を見込んでいる。神河町民が他市町に寄附される額は、令和2年度実績で約140件、寄附額は約1000万円、税の控除額は約470万円である。

Q 企業誘致について、町内で労働力が確保できるのか。また、IT関係の環境は十分整っているのか。

A 町内で労働力を十分に確保することは難しいので、大きな企業は誘致できない。企業には「他市町からも労働者を連れてきてもらえる方法はないでしょうか。住むところは何とかします。」というスタンスで接している。

IT関係は、ネットの速度が遅いが、町内どこでも光ケーブルが使える状態であることは売りである。速度不足は回線の増設で解消できないかと考えている。

Q 粟賀小学校跡地整備事業（公園・図書コミュニティ施設）で設計委託料6000万円が計上されているが、地元や役場の若手職員がどのような施設にしたいのか意見を固めた上で、設計業者に基本的なものを作らせる手順で進めるべきではないか。

A これまで地元の検討委員会でも様々な意見をいただいている。また、特に役場の若手職員が事業推進に関わっている。それを設計という形にしていくには技術のある設計業者の力を借りるしかない。特記仕様書等にもワークショップ等住民を交えた意見交換、意見収集を十分行うよう明記している。

粟賀小学校跡地

民生費

Q 障害者自立支援給付等事業は、対前年度3257万5000円の増である。対象人数の増減はあまりないのにも関わらず、大幅な増となった要因は。

A 主な増額の要因は、①「ひと花」等の新設で生活介護の部分が2000万円の増額、②ショートステイ、短期入所が500万円の増額、③グループホーム、共同生活援助が400万円の増額、④就労継続支援A型(旧難波酒造)が100万円の増額、⑤放課後等デイサービスが300万円の増額である。給付単価も令和4年度は上がっており、事業費は今後も増額する見込みである。

衛生費

Q 感染症対策抗原定性検査の①検査内容は。②一人当たりの単価と人数の見込みは。③高齢者施設等の職員で町外の方の受診は可能か。

A ①鼻の奥の粘膜を採取する検査である。②単価は1万7000円で、2880人を見込んでいる。③町内施設で働いておられる方についても検討する。

農林水産業費

Q 有害鳥獣被害は何十年も前から出ており、実態や課題を把握され、対策費として計上されていると思うが、どのような対策を強化するのか。

A 現在、抜本的な対策はないが、令和4年度に地域をくまなく回り、防護柵の工夫や困っておられること、対策の実態などを十分に調査し、今後、抜本的な改革が図れるように取り組む。

イノシシによる被害

商工費

Q 砥峰高原、峰山高原行きのバス借上料が、874万4000円計上されている。一方、歳入のバスチケットの売上の予算は、252万5000円で約600万円の赤字である。バス借上料は、砥峰高原、峰山高原の収益施設が負担すべきものではないか。

A 寺前駅等から各施設までの2次交通がない神河町にはシャトルバス等が必要である。各施設事業者と料金の改定、事業者負担の可能性を検討したい。

土木費

Q 地域住宅政策事業で、宅地開発事業者に対して造成条件の良し悪しに関わらず一区画あたり50万円を補助するように予算計上されている。造成工事に要する金額に応じて、補助金を段階的に設定すべきではないか。

A 町内の事業者や宅建協会姫路支部などにも相談し、神河町のような白地地域(特に規制がない地域)であれば一区画あたりいくらと決めた方が取り組みやすいという意見を聞いている。合わせて、他市町の取組も参考にし、役場内の政策調整会議等で充分協議し決定した。

消防費

Q 防災備蓄事業で、学校等に設置の防災倉庫に食料品の備蓄がアルファ化米50食と水48本と説明があったが、数量が少なくないか。町内は4つの谷があるが、そこにつながる道は1本しかない。緊急時に運搬できないことも想定し、備蓄量を増やすべきでないか。

A 備蓄品が多ければ多いほど良いという考え方もあるが、消費期限もあるので、現状の備蓄数を継続して更新したい。今後、他市町の備蓄状況も確認し、神河町だけが特別に少ない状況であれば検討したい。

一般会計総括

Q 町長選での選挙公約である「農林業の再生」が令和4年度予算では見えてこないが。

A 令和4年度に策定する「神河将来ビジョン」で30年後、50年後の青写真を作る。山の環境の悪化で獣害が生み出されたので、山の再生を盛り込んだシナリオ、ストーリーを描いていかなければならないと考えている。

Q こども園について、神河町は幼稚園教育を充実することで未就労の保護者の0歳児から3歳児も施設で保育、教育が出来るように取り組まれるとのことだが、現在の考えは。

A 未就労の保護者の3歳児の幼稚園受入れについて、予算面も含め構想を固め、令和5年度から実施できるよう検討する。

神河モデル的な取組を進めたい。

一般会計

反対討論　藤森　正晴

若手職員に未来づくりを

50年後の将来ビジョン見えてくるのは、大幅な人口減少である。

若者定住移住に欠かせない企業誘致の予算が本年度も無い。用地整備をし、若い優秀職員に託し、企業誘致への営業予算を計上すべきだ。

粟賀小学校跡地活用の公園・図書コミュニティ事業は若者定住移住にも関係してくる。神河町を左右する大事業である。

今こそ若き職員の発想力・知恵・能力を出し合い、未来づくりのプロジェクトチームを立ち上げて、自慢の誇れる施設にして欲しい。

経費の削減は元より達成感・信頼感が深まり、行政への意欲も湧き、住民サービスの向上にも繋がる役場に変わるのではないか。

介護保険事業特別会計

Q 生活支援協議体は、地域でリーダーとなる人が非常に少ない中で設置が進んでいない。今後の体制づくりは。また地域自治協議会との関係は。

A 生活支援協議体は、現在40集落中14集落の設置である。今後、ブロックごとの地域自治協議会の中に、防災や福祉の部会を設け、生活支援協議体の役割を担っていただくことも協議したい。

6月には町民向けにフォーラムを開催し、生活支援協議体の必要性を訴えていく予定である。

土地開発事業特別会計

Q 新たな分譲地、民間事業者による開発を進めるとのことだが、具体的な候補地や見込みは。

A 候補地は検討している。民間事業者からも提案はあるが、様々な制約があり実現されていない。財政面から町として開発に係る予算は計上できない。民間活力を導入する環境づくりとして、宅地開発支援事業補助金制度を創設した。

公立神崎総合病院事業会計

「公立神崎総合病院の機能等に係る住民アンケート調査」から、「当院は住民には必要とされているが、病院運営や診療内容に決して満足されている訳ではない」という結果が見えてきた。今後は、住民の声を真摯に受け止め、公立病院として住民が納得する運営を目標に努力すべきである。

（病院事務長意見）

Q 今回のアンケート結果を職員の意識改革等にどのように活用されるのか。

A アンケートの意見は、町の病院経営改善対策本部会議や院内の公式会議で意見交換し、対策を講じていく。今年2月から病院の幹部職員だけでなく、一般職員も含めた有志20名で経営座談会を立ち上げ、毎週1時間程度ストレートな意見交換を継続して行っている。

発委第1号　ウクライナからのロシア軍の即時撤退と速やかな平和の実現に関する決議

「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻は、力によるウクライナの主権と領土の明確な侵害で、国際秩序の根幹を揺るがすものであり、平和的解決を求める全世界の願いもむなしく、軍事行動という最悪の手段を行使したロシアの暴挙は、厳しく糾弾されるべきである。

『恒久平和のまち』を宣言している町として、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対して強く抗議するとともに、ウクライナ国民と現地在住の日本はじめ各国の国民の安全確保及びウクライナからのロシア軍の即時撤退と速やかな平和の実現を強く求める。」

以上のとおり全員賛成で決議しました。決議書はロシア大使館をはじめ内閣総理大臣、外務大臣などに提出しました。

議案審議

諮問
【人権擁護委員の推薦】

平成28年7月1日から人権擁護委員をお務めいただいている竹國民代氏（越知区）が、2期6年間務められ、令和4年6月30日をもって任期満了になり、退任されます。

その後任に、前川修子氏（吉冨区）を推薦したい旨の提案があり、「適任者である」との意見を付しました。

前川修子氏（吉冨区）

条例の一部改正
①【課設置条例】

農林業の再生を町の重要課題とし、その位置付けを明確にするために課名を「地域振興課」から「農林政策課」に変更するものです。

②【特別職・職員の給与に関する条例】

令和4年度の6月の期末手当を0．15月引き下げ、支給月数を2．55月から2．40月に引き下げるものです。

③【職員の特殊勤務手当に関する条例】

新型コロナウイルス感染症と少子高齢化の対応が重なる最前線で働く職員（公立神崎総合病院・訪問看護ステーション・幼稚園・学童保育クラブ）の処遇改善を行います。

また、山林の現地調査作業の危険性を考慮し、山林の地籍調査作業従事者に対し1日200円の作業手当を支給するものです。

④【学校通学費等の支給に関する条例】

バス通学・通園区域は、遠距離通学となる区単位となっていますが、おおむね4kmを基準にバス通学・通園を選択できるように見直します。

バス通学・通園見直し箇所（全て神崎小学校校区）

Ⅰ山田852番地先から根宇野区境

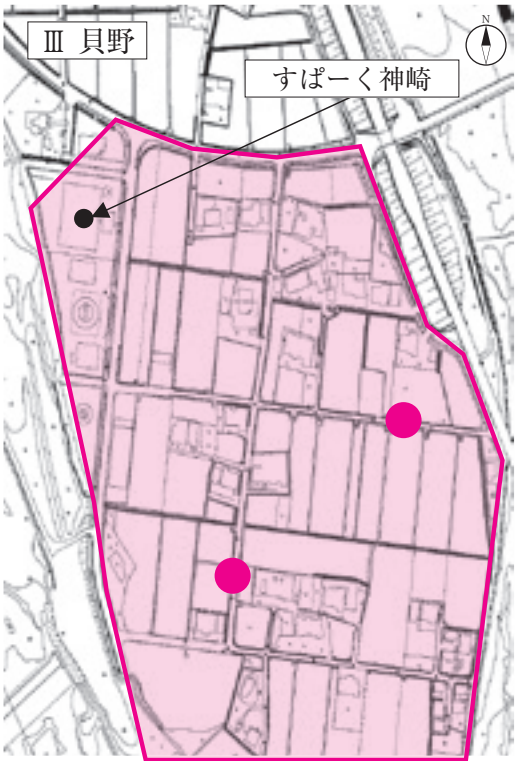
Ⅱ福本1228番地先から東側の区域

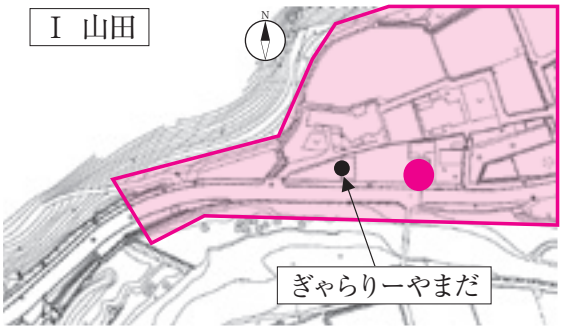
Ⅲ町道粟賀・柏尾・貝野線の貝野435番地先から貝野508番地間より南側の区域

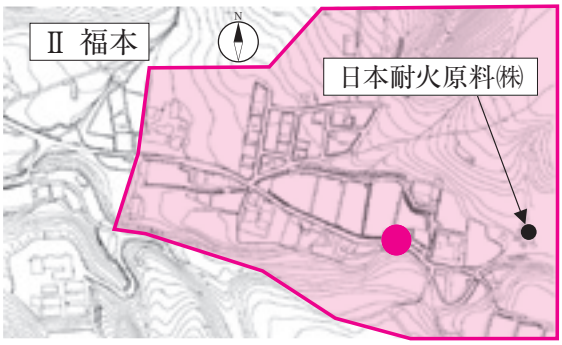
＊下記図面参照

町道路線の廃止と認定

町道水走り中河原の道路改良工事の完了に伴い、既存の町道水走り中河原線、中河原線、深田線の3路線を廃止し、新たに「町道水走り中河原線（663．6m）」及び「町道深田線（190．0m）」を町道認定するものです。





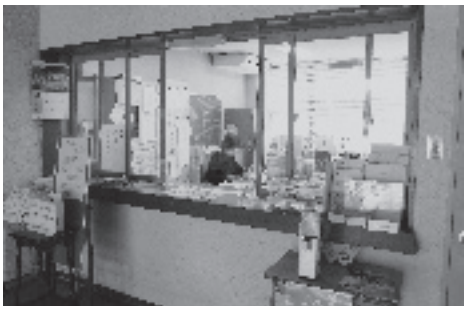


図面内ピンクの枠内が新たにバス通学・通園を選択できる箇所になります。

●・・・神崎小学校から4km地点

委託契約〔センター長谷証明窓口業務〕

センター長谷証明窓口業務を㈱長谷に業務委託するものです。期間は令和4年4月1日から令和9年3月31日までです。



センター長谷窓口の様子

補正予算〔令和3年度一般会計(第8号)〕

歳入歳出それぞれ7790万1000円を追加し、総額を87億7421万6000円とするものです。

歳入の主なものは、国の補正による普通交付税、地籍事業補助金、保育士等処遇改善臨時特例交付金の増額、神河まち・ひと・しごと創生寄附金(企業版ふるさと納税)の増額等です。

歳出の主なものは、地域公共交通新型コロナウイルス対応型運行支援事業の増額、地域再生協働員(県版地域おこし協力隊)事業の増額、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の増額等です。

財源調整としての財政調整基金をはじめ公共施設維持管理基金、森林環境譲与税基金の積立金の増額があります。

承認

①〔地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の策定〕

令和2年7月に「クールチョイスなまち宣言」を行い、町全体でCO_2ゼロを目指すことを宣言しています。この宣言に基づき、温室効果ガスのさらなる排出削減や脱炭素社会に向けた目標設定と取組推進、再生可能エネルギーの利活用の加速化を進めるための計画を策定するものです。

賢い選択

②〔第3期健康増進・食育推進及び自殺対策計画の策定〕

ひとりひとりの健康づくりを根付かせるための健康増進や食育推進、自殺対策にかかる基本的な考え方及び施策を示す計画を策定するものです。

③〔地域防災計画の一部改正〕

災害対策基本法の改正に伴い、新型コロナウイルス感染症に対応するため、避難対策等の計画を一部改正するものです。

④〔災害時受援計画の策定〕

大規模な災害が発生した際の受援体制や支援を要する業務を定めておくことで、行政機能を低下させることなく、効果的な災害応急対策の遂行と迅速な被災者支援を行うための計画を策定するものです。

第105回臨時会

1月27日開催

議案審議

公の施設の指定管理者指定

グリーンエコー笠形及び体育施設の指定管理者を㈱Dreamaway(ドリームアウェイ)とし、指定期間を令和4年4月1日から令和14年3月31日までとするものです。

補正予算〔令和3年度一般会計(第7号)〕

歳入歳出それぞれ1億3260万7000円を追加し、総額を86億9631万5000円とするものです。

補正の主な理由は、住民税非課税世帯等に1世帯当たり10万円の臨時特別給付金を支給するためです。

詳しくは、町広報2月号8ページをご覧ください。

議案等の審議結果

◆全員賛成で可決した議案◆　※第１０５回臨時会（１月２７日開催）

議案番号	件　名
第　３　号	令和３年度神河町一般会計補正予算（第７号）

◆賛否の分かれた議案◆

議案番号	件　名	賛成	反対	議決結果	1 安部	2 三谷	3 欠番	4 小寺	5 吉岡	6 小島	7 欠番	8 藤森	9 欠番	10 栗原	11 澤田	12 廣納
第　１　号	神河町公の施設(神河町神崎いこいの村「グリーンエコー笠形」)の指定管理者指定の件	6	1	可決	×	○	－	○	○	○	－	○	－	○	－	欠
第　２　号	神河町公の施設(神河町グリーンエコー笠形体育施設)の指定管理者指定の件	6	1	可決	×	○	－	○	○	○	－	○	－	○	－	欠

◆全員賛成で可決・承認した議案等◆　※第１０６回定例会（３月３日～３月２４日開催）

諮問番号	件　名
第　１　号	人権擁護委員の推薦につき意見を求める件

議案番号	件　名
第　５　号	神河町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第　６　号	神河町個人情報保護条例の一部を改正する条例制定の件
第　７　号	神河町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第　８　号	神河町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第　９　号	神河町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第１０号	神河町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第１１号	神河町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の件
第１２号	神河町青少年問題協議会条例の一部を改正する条例制定の件
第１３号	神河町空家等の適正管理及び利活用の促進に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第１４号	神河町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定の件
第１５号	神河町立学校通学費等の支給に関する条例の一部を改正する条例制定の件
第１６号	神河町町道路線の廃止の件
第１７号	神河町町道路線の認定の件
第１８号	センター長谷証明窓口業務の委託契約の件
第１９号	令和３年度神河町一般会計補正予算(第８号)
第２０号	令和３年度神河町国民健康保険事業特別会計補正予算(第４号)
第２１号	令和３年度神河町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第４号)
第２２号	令和３年度神河町介護保険事業特別会計補正予算(第４号)
第２３号	令和３年度神河町訪問看護事業特別会計補正予算（第３号）
第２４号	令和３年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計補正予算(第２号)
第２５号	令和３年度神河町寺前地区振興基金特別会計補正予算（第１号）
第２６号	令和３年度神河町長谷地区振興基金特別会計補正予算（第１号）
第２７号	令和３年度神河町水道事業会計補正予算(第３号)
第２８号	令和３年度神河町下水道事業会計補正予算(第３号)
第２９号	令和３年度公立神崎総合病院事業会計補正予算(第４号)
第３１号	令和４年度神河町介護療育支援事業特別会計予算
第３２号	令和４年度神河町国民健康保険事業特別会計予算
第３３号	令和４年度神河町後期高齢者医療事業特別会計予算
第３４号	令和４年度神河町介護保険事業特別会計予算
第３５号	令和４年度神河町土地開発事業特別会計予算
第３６号	令和４年度神河町訪問看護事業特別会計予算
第３７号	令和４年度神河町産業廃棄物処理事業特別会計予算
第３８号	令和４年度神河町寺前地区振興基金特別会計予算
第３９号	令和４年度神河町長谷地区振興基金特別会計予算
第４０号	令和４年度神河町水道事業会計予算
第４１号	令和４年度神河町下水道事業会計予算
第４２号	令和４年度公立神崎総合病院事業会計予算

承認番号	件　名
第　１　号	神河町第３期健康増進・食育推進及び自殺対策計画の策定の件
第　２　号	神河町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の策定の件
第　３　号	神河町地域防災計画の一部を改正する件
第　４　号	神河町災害時受援計画の策定の件

発委番号	件　名
第　１　号	ウクライナからのロシア軍の即時撤退と速やかな平和の実現に関する決議の件
第　２　号	神河町議会委員会条例の一部を改正する条例制定の件

◆賛否の分かれた議案◆

議案番号	件　名	賛成	反対	議決結果	1 安部	2 三谷	3 欠番	4 小寺	5 吉岡	6 小島	7 欠番	8 藤森	9 欠番	10 栗原	11 澤田	12 廣納
第　４　号	神河町課設置条例の一部を改正する条例制定の件	7	1	可決	○	○	－	○	○	○	－	×	－	○	○	－
第３０号	令和４年度神河町一般会計予算	7	1	可決	○	○	－	○	○	○	－	×	－	○	○	－

・○は賛成、×は反対です。１２番の廣納議長は賛否同数の採決以外は採決に加わりません。
・３番、７番、９番は欠番となっています。

常任委員会は、3か月ごとに各課事業の進捗状況と重要事業の調査をしています。

総務文教常任委員会

2月16日開催

教育課

●神崎郡3町で運営している病児病後児保育施設の1月末の登録者数は97人で、うち神河町は45人です。昨年4月からの利用実績は33人です。

●長谷幼稚園は、令和元年度から休園しています。令和4年度も入園者がないため、引き続き休園となります。

●民間での認定こども園は、神崎保育園・寺前保育所ともに現時点では経営面、財政面、保育士不足などの問題があり、実施は難しい状況です。教育委員会としては、今までどおり幼稚園教育に重点を置き、未就労の保護者の3歳児を受け入れる体制を検討していきます。

●町民温水プールは財政負担を減らすために、利用者増につながる運動効果モニタリング事業の取組の検討をしています。

現在、地元と協議しながら利用料金の見直しや利用者増に向けた取組も行っています。

また、長谷地区区長会連合からは、長谷地区や存続要望の署名をされた方々に、利用料金の見直しや利用者増についての文書を配付され、協力を求められています。

町民温水プール

●神河町史編さん事業の発刊計画は、自然・地理・歴史・文化等の部門を本編・別編・史資料編に区分して全6巻で構成、令和6年度から順次刊行する予定です。令和11年度には、副読本として「わたしたちの神河町」を作成し、全戸配付する計画です。

●1月末の図書蔵書数は、中央公民館が9898冊、神崎公民館が1万5001冊、きらきら館が1万1074冊です。4月には図書システムが更新され、インターネットでの蔵書検索画面が見やすくなります。

税務課

●4月1日以降に発行される納付書から、スマートフォン決済サービス(*)による納付が可能になります。対象は、個人住民税・固定資産税・軽自動車税・国民健康保険税です。(*)スマートフォンにインストールした決済アプリで、納付書に表示されているバーコードを読み取り、事前に登録した預金口座等から町税等を納付することができるサービスです。詳しくは、町広報4月号又は町ホームページをご覧ください。

●1月31日に4回目の滞納整理対策委員会を開催し、各課の徴収取組状況を確認し、連携して徴収を強化する取組を協議しています。

会計課

●令和4年1月末の現金等保管総額は、51億6211万9996円です。1月末の一時借入金はありません。一時預貯金は3億円です。2月末までは、資金不足は発生しない見込みです。

●2月8日に、指定金融機関であるJA兵庫西脇前支店の定期検査を実施しました。検査の結果、公金の収納・支払事務、関係諸帳簿・書類の保管等、適正に処理されています。

総務課

●12月27日に、大川原区で大雪によりケーブルテレビの伝送路に障害が発生し、カクレ畑16世帯で停波しました。

2月3日に、峰山高原施設一帯でインターネット障害が発生しました。原因は特定できていません。

2月9日と10日に、㈱サルード管理下のインターネットサーバーに障害が発生し、町内全域で接続障害が発生しました。

●地域自治協議会の設立に向けて、区役員や団体長を対象に協議会の内容や今後のスケジュールについて説明会を開催しています。また、ブロックごとに協議の場を設け、今後のスケジュール確認や各区の状況や意見、課題について情報共有が行われています。

令和4年度から課題を集約し、令和6年度の協議会の立ち上げに向け協議が進められます。

民生福祉常任委員会

2月9日開催

公立神崎総合病院

Q **公立神崎総合病院玄関西隣の駐車場は障がい者優先駐車場だが、健常者と思われる方が利用しており、車椅子を利用されている方が使えず、遠い駐車場を使わざるを得ず不便だったという苦情を聞いた。玄関横の駐車場の位置づけは。**

A 障がい者専用駐車場ではなく、歩行が困難な方のための駐車場という位置づけである。例えば、ペースメーカーを装着されている方や人工透析をされている方は、見た目には分からないが、透析された直後はフラフラの状態になられることもある。病院側で注意できない状況であり、利用者の配慮に頼るしかない。

健康福祉課

Q **高齢者の見守りサービスとして、スマートスピーカーを用いた「ぽすくま」の実証実験をされた。テレビ電話機能は利用頻度が多く好評とのことだが、オンライン診療や災害情報にも使えるようにならないか。**

A アプリ代が月600円必要で、町単独事業で実施するのは難しい。しかし、鳥取県でICTを利用した高齢者の見守り事業で補助金の交付を受けている自治体があるので、先進事例を研究し、できるだけ安価に導入できないか検討する。

Q **人生いきいき住宅助成事業が兵庫県の事業としては廃止される。令和4年度以降はどうなるのか。**

A 人生いきいき住宅助成事業は、65歳以上に補助をする「一般型」と要介護・身体障害者・療育手帳をお持ちの方を対象とした「特別型」の2種類があった。県は「一般型」について、ある程度の成果が出たので廃止することとした。県の廃止に伴い、町も廃止する。「特別型」は継続する。

Q **安全安心に暮らすためには必要な事業と思うので、新年度以降も「一般型」の要望が多ければ、事業復活に向け検討してほしい。**

A 再度検討する。また、住民にも丁寧に説明させていただく。

住民生活課

Q **特殊詐欺防止のグッズ「録音チューン」の配付の件だが、新聞にも掲載され、神河町の防犯対策として高評価を得ている。令和4年度予算で全世帯配付の額を組んだらどうか。**

A 特殊詐欺に遭いやすい高齢者世帯を調査した結果、734世帯であり、現時点で在庫がたくさんある。区から要望があれば高齢世帯に関わらず配布している。新年度予算で新たな購入は予定していないが、兵庫県の動向も見定めたい。

録音チューン

Q **粗大ごみの個別収集サービスが高齢者世帯と障がいをお持ちの方限定で始まるが、運搬1回につき負担金2000円は高い。高齢者、障がい者が対象であれば福祉的な意味合いからももっと安くするとか無料でもいいのでは。**

A 負担金2000円の考え方は、現在のクリーンセンターへの持ち込み手数料を参考にした。現在100キロまで50円、それを超えると10キロあたり50円の手数料としている。軽トラ積載可能重量350キロを標準モデルとすれば175円になる。軽トラ以外の車種を使うと2000円以上の計算になるケースもあるが、一律2000円とした。他市町と比較しても決して高くはない。

上下水道課

Q **水道事業について広域連携した場合の将来シュミレーションは作成されているか。**

A 財政シュミレーションとしては、経営戦略見直しで、10年間ぐらいは料金改定はしなくてよい見通しである。

産業建設常任委員会

2月4日開催

建設課

●橋梁長寿命化修繕事業で、石枕橋（根宇野区）、寺ノ元橋（川上区）は、1月13日に入札執行し、石枕橋は㈱藤原組、寺ノ元橋は㈱コマドメ建設神河支店が落札されました。

●加美宍粟線東柏尾区のリカーズさか田店前交差点から柏尾区の㈱黒田石油前新寺前橋東交差点間の歩道の照度測定を実施しました。測定の結果、必要照度の3ルクスに満たない箇所がありました。

Q 神戸市の照明施設設置基準では、歩行者用照明は5ルクス以上を標準とするとなっているが、必要照度を3ルクスにした理由は。

A 国の基準で、神戸市のような交通量の多いところや歩行者の多いところは5ルクス以上、当町のように交通量が少なく、歩行者が少ないところは3ルクス以上と定められている。

加美宍粟線㈱黒田石油東

地籍課

Q 各工区で事業を繰越しているが、繰越しは事業執行に支障が出たからではなく、今実施している事業に国の補助金を充てるためか。

A そのとおりである。国が景気対策で予算を前倒ししており、来年度の計画に上げている事業に国の予算を充てて事業執行していく。

地域振興課

Q 間伐実施面積が当初の計画からかなり減っているが、この要因は。

A 間伐する計画のうち一部間伐から皆伐に変更になったり、間伐を実施していた町内事業体の中で怪我をされ、現場の進捗ができなかったりという状況になったためである。

ひと・まち・みらい課

Q 旧喫茶ファミリーの賃貸契約は、所有者とリバーズランが契約しているのか。

A 所有者とリバーズランが賃貸契約をしている。

Q 旧喫茶ファミリーの改修費等に企業版ふるさと納税の寄附金3000万円を充当する予定ということだが、町はリバーズランに補助をするのみで、リバーズランが旧喫茶ファミリーを撤退するときの資産等の精算はリバーズランと所有者が行うという理解でよいか。

A そのとおりである。

リバーズラン事務所（旧喫茶ファミリー2階）

Q 2月22日開催予定の地域公共交通会議で、4月1日のダイヤ改正について協議されると思うが、デマンドバスに移行予定の路線についても、4月1日以降もデマンドバスに移行せず、現在のまま運行させる前提で協議するのか。

A 2月22日の地域公共交通会議には、デマンドバス移行については具体的な方針が出せないため、現在のまま運行させる前提で協議する。

Q デマンドバスはいつから運行するのか。町民からいつになったらデマンドバスが利用できるのか聞かれても、何にも答えることができない。

A まず今年の秋から川上線でデマンドバスを運行し、状況を見ながら他の路線でも運行していく。

Q デマンドバスの運行システムやオペレーターを置く事務所はどこになるのか。

A 神姫グリーンバス㈱粟賀営業所（中村区）に設置されると思う。

みなさんの声を町政に

一般質問は、住民から重大な関心と期待を持たれるもので、議員が執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明・報告を求め、議員自らも政策提言を行い、政治姿勢を明らかにするものです。質問する議員は、町長に事前に質問内容を通告します。時間は質問、答弁合わせ1人1時間以内となっています。質問した議員それぞれが原稿を起こし、「議会だより」に掲載しています。（1人1ページ）

今回の登壇者は２人でした。

ページ	質問者（登壇順）	質問事項	ケーブルテレビ再放送日
14	吉岡 嘉宏 議員	①薪ストーブ、ペレットストーブ購入補助制度の創設は。 ②水道料金の値下げはできないものか。	5月10日(火) 午後7：00～
15	小島 義次 議員	①粟賀小学校跡地整備事業を問う。 ②地域自治協議会設置運営の進捗状況と完成イメージは。 ③長期総合計画の基本的な考え方を問う。	5月10日(火) 午後8：00～

主な議会日程

5月
- 2日(月) 第107回臨時会（議会構成）
- 17日(火) 産業建設常任委員会
- 20日(金) 人権文化推進特別委員会
- 23日(月) 総務文教常任委員会
- 26日(木) 民生福祉常任委員会

6月
- 8日(水) 議会運営委員会
- 14日(火) 第108回定例会（提案・質疑等）
- 17日(金) 総務文教常任委員会（付託議案）
- 21日(火)～22日(水) 定例会（一般質問）
- 28日(火) 定例会最終日（採決）

※この日程は変更となる場合があります

本会議等の傍聴について

新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、しばらくの間、本会議等の傍聴については、できる限りお控えいただくようお願いいたします。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

Q ◎薪ストーブ、ペレットストーブ購入補助制度の創設は
◎水道料金の値下げはできないものか

吉岡　嘉宏 議員

○薪ストーブ、ペレットストーブ購入補助制度の創設は

Q 兵庫県西播磨県民局管内の市町の住民、法人に対し兵庫県は薪ストーブ、ペレットストーブ購入費と設置費の補助を行っている。補助率は実支出額の2分の1以内、上限12万円、宍粟市は独自事業で上限20万円で県の補助を除く金額を補助している。神河町も必要な制度と思っているが、承知されているか。

A 西播磨県民局に問い合わせたところ令和3年度で18件、宍粟市では7件の利用があったとのことで薪ストーブでの利用が多かったとのことである。宍粟市では森林所有者が自ら実施する小規模な森林整備を推進するために伐採された木材を買い取る「木の駅」事業の運営支援と対となり、県の補助制度と併用が可能となっていると認識している。

Q 国のカーボンニュートラル2050、町長選の公約である豊富な森林資源を活用した脱炭素化の事業に合致し、化石燃料を使わない薪ストーブ、ペレットストーブの普及を進めるため購入補助制度の創設は必要であるがどうか。

A 神河町の地球温暖化対策、CO_2排出抑制対策は今議会で承認された「神河町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」にお示ししている。その中に「木質ペレットストーブや薪ストーブの普及推進」にも触れている。

町の50年後の青写真になる「神河将来ビジョン」でも取り組むべき課題と考えており具体化したい。

○水道料金の値下げはできないものか。

Q 神崎郡内3町の水道料金を調査すると、口径13㎜の水道管で1か月25トンを使用した場合、福崎町2610円、市川町3340円、神河町5450円という試算結果になった。神河町の水道料は福崎町の2倍で高額である。なぜこうなるのか。

A 水道料金は町民の水道使用料と一般会計から法律に定められた一部の繰入金を元に水道施設の運営費や修繕費等を賄うようになっており、神河町の様に山間部に位置し、浄水場12箇所、配水池19箇所（市川町、福崎町の浄水場は共に3箇所、福崎町は県水を引いており更に安くなる要素がある）を配備せざるを得ない町としては水道料金が高くならざるを得ない。しかし、都市部とは違い浄水器なしでおいしい水を提供できている。

Q しかし値下げの努力は必要である、取組状況は。

A 国・県の指導で広域連携の取組が始まっている。例えば市川町と共に水道資材の共同購入により、10％程度購入単価が下がった実績もある。福崎町、姫路市にも働きかける。隣の朝来市とは町境まで水道本管がきており接続しやすい環境と考えている、実現できれば双方にとってプラスと思う。

Q 水道料金がなぜ他市町より高いのか住民への説明が必要。

A 令和4年度に経営戦略の見直しと資産管理計画の策定を行う。その後、町民に水道事業の現状や将来予測をお示しする。

広報、ホームページ、ケーブルテレビを使い情報をお伝えする。

Q 粟賀小学校跡地整備事業で公園整備・図書館整備について問う

小島　義次 議員

A 町長 公園と図書施設は町負担で整備する方向で、設計プロポーザル参加事業者を募集する。

Q 公園内にジョギング、ウォーキング、散策コースなどを設置する計画はあるか。

A ひと・まち・みらい課長

地元検討会等からの様々な意見を総合的に整えた設計としていく。各コース設置の提案を受け止め、検討していく。

Q ジョギングなどの各コースで、距離の違いを色別表示したラインを引き、楽しく目標を持ったジョギングなどができる工夫をしてはどうか。

A ひと・まち・みらい課長

コース設置の提案と合わせ、検討していく。

Q 計画されている図書館のイメージは。

A ひと・まち・みらい課長

図書室機能、コミュニティスペース、会議・研修室、駐車場、公園、トイレなどを有する施設をイメージしている。図書室の蔵書は最大4万冊、書庫は3000冊の収容を想定している。読書が楽しめる図書スペースのほかにコミュニティスペース、カフェスペース、イベントスペースなど魅力ある空間を確保する予定である。

特にイベントスペースでは、映画鑑賞、講演会、展示・展覧会、絵本読み聞かせなどのイベントに対応できる空間としている。

地域自治協議会の進捗状況と完成イメージは

Q 目標の令和6年度までに全区で設置ができるのか。現状と進捗は。

A 町長

各区の課題を持ち寄り、ブロックで心合わせの作業を進める協議をしている。

Q 設置が進まない区の原因とその対応は。

A 総務課長

地域の困りごとや停滞している各区の課題をブロックに持ち寄り、協議を進めている。区によって多少の差はあるが、全ての区で進んでいる。

対応として各区の独自性、共通性、また短期・長期の課題かなど課題整理を進めていく。

Q 設置完了となったときの最終イメージは。

A 総務課長

地域住民が自ら活動を計画し、自らが活動を行うことになる。組織構成はブロック内全ての住人・団体が土台となるが、事業推進は区長協議で決定・提案し、総会についても代議員制としている。

Q 高齢者の戸別ごみ収集、買い物の戸別配達などのサービス提供の仕組みを整えることはできないか。

A 総務課長

区やブロック単位で取り組むなら、自治協の制度が活用できる。町内全域で取り組む要望なら、町行政が検討すべき課題である。

長期総合計画の基本的な考え方を問う

Q ハード面での「魅力のある町づくり」とソフト面での「心を育てる」＝「人間力」を高めることは双方向で響きあっていくものである。「人間力づくり」の方法、方向性は。

A 町長

神河町の教育の基本理念「ふるさとを愛し、こころ豊かで自立する、神河の人づくり」こそ「人間力づくり」に繋がる。地域の魅力づくりや「神河町の土台」づくりを通して「神河の人づくり」に邁進していく。

また、役場の業務そのものが住民福祉の向上であり、住民目線でのサービスをしっかり進めていく。

ひとこと

健康増進の公園設備・利用しやすい図書施設を

まちかどインタビュー

第8回

取材日：3月12日
取材者：吉岡嘉宏

第8回は、神河町クールチョイス委員などを務められ、多方面において神河町のまちづくりに精力的に活動されている森本浩子さん（福本区在住）にお話を伺いました。

クールチョイスとは

地球温暖化防止対策の国民運動で、工夫をしながら環境にやさしい生活をすることです。

森本浩子さん

神河町は令和2年に「クールチョイスなまち宣言」をしました。

例えば、買い物時にはエコバックを持参する。夏場のエアコン温度設定は28度にすることもクールチョイス（賢い選択）です。「あー、それなら私の○○もクールチョイスね」と言えることがありませんか。

地球温暖化防止の取組で町民の皆様へのお知らせやお願いがありましたら

昨年、町民向けに「環境未来塾」が開講され、講師の方々から環境問題について世界の現状や身近な取組を学びました。

私は、神河町に住んでいながら初めて訪れた場所もあり、自分がどんな町に住んでいるのか改めて知る機会にもなりました。

先日、若いお母さんとの話の中で、環境塾の話題がありました。興味を持ってチラシを見てくださったことを知り、嬉しかったです。今年度は若いお母さんたちと共に学べたらいいなと思っています。

子育てについて町・議会に望むことは

私は、地域の方々をはじめ多くの方々に出会い、子育てをしてきました。子育ては人との関わりが大切ですが、コロナ禍にあって関わり方が難しくなりました。

子育てしやすい環境づくりは子どもたちの安心と安全につながります。議員の皆様には、若い世代の意見を取り入れながら、環境、居場所づくりをしてほしいです。

神河町の令和3年度の出生者数は50人を切る見込みです。子育て環境の充実が必要ですが、何かアイデアがあれば

町民の町外流出を減らすことが重要です。そのためには、自動車利用が必須の町ですから18歳未満の児童がおられる子育て世帯にはガソリン手当を新設し、高騰するガソリン代の支出を補助することで子育て世帯の家計負担を少しでも減らすというのはどうでしょう。

あとがき

北京冬季オリンピックは数々の感動の連続であった。ガッツポーズ、歓喜の涙、神様のいたずらの涙、自分のために仲間の夢を壊してしまった、止まることのない涙、涙に・・・大丈夫ありがとうと寄り添い、肩をたたくアスリートたち、たまらなくもらい泣きである。メダルは無くても、色が変わっても、素晴らしい金メダルだよと拍手を送る。そんな思い出も連日のコロナ、コロナという報道で遠くなってしまった。

さて、私たちの編集も今回で最後となりました。新しい企画のまちかどインタビューは、心よく受けていただき、ご意見、ご指導感謝しております。ありがとうございました。あとは次期委員に託し、ペンを置きます。

（藤森正晴）

広報公聴活動調査特別委員会
委員長　小島　義次
副委員長　吉岡　嘉宏
委員　藤森　正晴
委員　栗原　廣哉
委員　澤田　俊一